

おわりに

平成 28 年 2 月に第 1 回策定委員会を開催し、約 1 年をかけて議論を進めて参りました。

当初入居以来、住民の皆さんにより活発な地域活動が継続されてきた横浜若葉台は、約 40 年を経過し、言わば成熟期を迎えました。

そのようななか、将来を見据えたまちづくりの共通指針を策定すべく設置された本委員会における議論では、課題を改めて認識するとともに、普遍性と可変性を備えた多種多様な魅力についても、新たにたくさんの気づきを得られました。

今後も社会環境の変化とともに様々な課題に直面することが想定されますが、「豊かな自然に囲まれた日々の生活」とそこに萌芽した「温かい人々との繋がり」は他の地域に類を見ない若葉台の最大の強みであると実感しています。

この強みを活かし、理念を共有して各種取組を推進することにより、大規模集合住宅地における「持続循環型まちづくり」のモデルになるものと確信します。

最後に、本プラン策定にあたりご協力いただいた皆様に御礼を申し上げるとともに、今後このプランに基づき、更に魅力的なまちへと発展すべく「オール若葉台」の精神に基づく多様な連携により様々な取組みが具体的に推進していくことを願います。

委員会開催等経緯

開催日	主な内容	備考
第 1 回 H28.2.10	<ul style="list-style-type: none">マスタープラン策定の目的、役割基礎データと課題の共有	H28.6 広報ニュース第 1 号
第 2 回 H28.4.20	<ul style="list-style-type: none">課題のグルーピング将来的な課題の想定	
第 3 回 H28.7.6	<ul style="list-style-type: none">委員会スケジュールマスタープランの全体構成案ヒアリングの概要報告	H28.9 広報ニュース第 2 号
第 4 回 H28.9.28	<ul style="list-style-type: none">魅力に関する住民アンケートの結果概要報告マスタープランの全体構成案将来を見据えた取組み方針	H28.11 広報ニュース第 3 号
中間報告会 H28.10.30	<ul style="list-style-type: none">中間報告会（現状と課題を中心に）まちづくりワークショップ（アイデアカードを参考にグループワーク）	
第 5 回 H28.12.13	<ul style="list-style-type: none">まちづくりの目標、戦略実現に向けた方針、基本戦略策定後のマネジメント	H29.1 広報ニュース第 4 号
第 6 回 H29.2.22	<ul style="list-style-type: none">素案修正数値目標、土地活用計画案、名称についてマネジメントの実施体制及び方法	H29.4 広報ニュース第 5 号

上記のほか、随時事務局会議と作業部会を開催

委員名簿

(1) 委員

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	准教授	野原 卓	
2	若葉台連合自治会	会長	山岸 弘樹	
3	若葉台住宅管理組合協議会	会長	柿沼 鉄雄	
4	若葉台地区社会福祉協議会	会長	細川 麗子	
5	NPO 法人若葉台	理事長	白岩 正明	
6	NPO 法人若葉台スポーツ・文化クラブ	クラブマネージャー	ことう 神尊 克己	
7	ショッピングタウンわかば わかば会	会員	森 隆司	
8	横浜市若葉台地域ケアプラザ	所長	池田 智恵子	
9	横浜市立若葉台小学校 PTA	会長	磯本 桂太郎	~ H28.3
			川上 康昇	H28.4 ~
10	横浜市立若葉台中学校 PTA	会長	磯本 桂太郎	H28.4 ~
11	若葉台子育てささえあい連絡会	会長	三村 治子	
12	一般財団法人シニアライフ振興財団	理事	瀧井 明	
13	神奈川県住宅供給公社	専務理事	しとみ 籾 健夫	
14	神奈川県住宅供給公社 団地再生事業部	部長	渡辺 哲	
15	一般財団法人若葉台まちづくりセンター	理事	吉田 隆信	~ H28.3
			渡邊 聡	H28.4 ~
16	一般財団法人若葉台まちづくりセンター	業務課長	水上 弘二	~ H28.3
		若葉台管理事業部長	小倉 剛	H28.4 ~

(2) オブザーバー

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	横浜市 建築局住宅部住宅再生課	課長	大友 直樹	
2	横浜市 都市整備局地域まちづくり部地域まちづくり課	課長	石津 啓介	
3	横浜市旭区役所 総務部区政推進課	課長	上野 圭介	~ H28.3
			押見 保志	H28.4 ~
4	横浜市旭区役所 福祉保健センター福祉保健課	課長	平本 雅典	~ H28.3
			松本 貴行	H28.4 ~
5	(株)市浦ハウジング&プランニング	常務取締役	奥茂 謙仁	
6	(株)市浦ハウジング&プランニング 都市計画・設計室	室長代行	仁科 力	
7	(株)市浦ハウジング&プランニング 都市計画・設計室		増田 亜斗夢	

(3) 事務局

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	神奈川県住宅供給公社 団地再生事業部事業企画課	課長	吉田 祥一郎	H28.4～
2	神奈川県住宅供給公社 団地再生事業部事業企画課	課長代理	吉田 直雄	～H28.3
			水上 弘二	H28.4～
3	神奈川県住宅供給公社 団地再生事業部事業企画課	主任	田中 杏奈	
4	一般財団法人若葉台まちづくりセンター	住宅管理課長	丸野 豊	
5	一般財団法人若葉台まちづくりセンター	工事課長	松原 重智	～H28.3
		公社賃貸管理課長	鶴崎 正則	H28.4～

役職名は平成 28 年度のもの

〔あ 行〕

一団地の住宅施設

都市計画法で定められた都市施設の一つ。良好な居住環境を有する住宅およびその居住者の生活の利便の増進のため、必要な施設を一団の土地に集団的に建設することを目的としている。

一般財団法人若葉台まちづくりセンター

若葉台第1期の入居に先立ち、まち全体の管理業務を担うため昭和53年に神奈川県住宅供給公社によって設立された財団法人若葉台管理センターを前身とし、平成25年に現組織に改組して現在に至る。住宅管理（分譲・賃貸）、施設管理（店舗・駐車場）、自主事業（不動産仲介等）の推進をはじめ、住民や諸団体、公社と連携し、地域密着でまちの安心安全や活性化に貢献しているまちづくりの拠点。

エリアマネジメント

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者などによる主体的な取組みの総称。

親と子のつどいのひろば「そらまめ」

NPO法人若葉台が事業主体となり、横浜市事業「親と子のつどいの広場事業」を活用して平成26年にショッピングタウンわかばの空き店舗に開設した子育て支援施設。

開設にあたっては、複数の地元組織が連携・協力。利用者は多く、子育て世代への支援のみならず、商店街の活性化にも貢献している。

〔か 行〕

神奈川県住宅供給公社

地方住宅供給公社法に基づき昭和25年に設立された特別法人で、横浜若葉台の開発者。所有する賃貸住宅、賃貸施設（店舗・駐車場）、未利用地の利活用を通じ、まちづくりセンターや住民団体等と連携し、マスタープランの具現化やマネジメント機能を担う。若葉台ほか、いち早く団地再生・活性化の取組みに着手している県の外郭団体。

旧・若葉台西中学校

平成19年の学校再編時に廃校となった中学校で「教育文化施設」として用途が定められており、現在は地域NPO法人の活動の場として暫定利用中。

平成27年度より、横浜市が主導して本格稼働に向けた調整等を再始動させたところで、地域ニーズの具現化に向けた利活用方策の推進が望まれている。

子育てささえあい連絡会

地区社協を中心に主任児童委員、民生児童委員、保健活動推進員、親の自主保育グループ有志、地区担当保健師の協力で平成15年に設立した子育て支援団体。親子の見守りと居場所づくりを目的としたサロン「みんなあつまれ」やプレイパークの主催などを通じ、地域の子育てを包括的に支援している。

コミュニティバス わかば号

団地内の交通を補完し、センター地区等への移動を円滑化させることをねらいとして平成 23 年からまちづくりセンターが公益事業として運行している自治体の運営に拠らないコミュニティバス。乗車定員は 11 名で利用は無料であることから、高齢者のみならず子育て世代の乗車も多く見られる。

〔さ 行〕

住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業

空き家の発生が見込まれる郊外型住宅団地を対象として、国が既存住宅の売買や賃貸化等の利活用にあ資する優良な取組みを採択することにより、一定の費用を補助して促進するモデル的な事業。

ショッピングタウンわかば（わかば会）

三丁目のセンター地区に配置された量販店と各種専門店で構成される商店街。各店舗が商店会として「わかば会」を組成し、一年を通じて各種販促活動やイベント企画を展開。まちづくりセンターが事務局を担い、地域や地域住民と連携した共存共栄を目指す。

スキップフロア

階段を介して意図的に建物の床の高さや階層をずらす建築方式。

若葉台の分譲棟の一部では、数階おきに共用廊下およびエレベーターが設置されており、同じ階層に共用廊下がない住宅はプライバシーが守られる反面、エレベーター停止階から玄関まで階段が発生することが移動面において課題となっている。

〔た 行〕

地域交流拠点「ひまわり」

福祉のまちづくり検討会議における検討や他団体の支援を受けて、NPO法人若葉台が平成 28 年にショッピングタウンわかばの空き店舗に開設した地域交流拠点。

4 つの機能（交流の場、そらまめとの連携、障がい者の日中活動の場、ボランティアセンター）に加え、医療法人と連携して居宅介護支援事業や訪問介護事業所としての機能も備える。

地域包括ケアシステム

医師の往診や訪問看護、介護を受けながら、住み慣れた地域で最期まで暮らせるようにする、厚生労働省が推進を推奨するシステム。

特定非営利活動法人 若葉台スポーツ・文化クラブ

「生きる喜びをわがまちに」の理念により昭和 60 年に創立。若葉台地区および周辺住民がスポーツ・文化両面の活動を通じて住民相互の親睦を図るとともに、住民の健康保持・増進、青少年の健全育成および豊かな地域社会づくりを目的とし、地域内の施設を活用して総合型地域スポーツクラブを運営する団体。各種スポーツ、文化活動における企画を多数主催、実施。

〔な 行〕

認定特定非営利活動法人 若葉台

高齢者、障がい者、子育て支援、それぞれの課題解決に向けた事業に取り組むべく平成 21 年に設立。法人格を取得し、地域作業所「ぶんげいざ」、親と子のつどいの広場「そらまめ」、地域交流サロン「ひまわり」「ふれあいわかば」等、各種事業を通じて地域課題への対応や福祉の充実を目指している。

〔は 行〕

福祉のまちづくり検討会議

2011 年に（一財）高齢者住宅財団により実施された地域調査の結果を受け、浮き彫りになった地域課題への対策を検討すべく設立された会議。若葉台連合自治会、若葉台住宅管理組合協議会、地域 NPO 法人、地区社協、ケアプラザ、まちづくりセンター、公社等に加え、医療機関や関係事業者等も交え、フォーマルサービス（公助）とインフォーマルサービス（共助・互助）の連携を目指して様々な検討が行われ、2016 年の「ひまわり」開設の原動力となった。

〔ま 行〕

みんなの若葉台

平成 29 年 4 月 1 日現在で発行 380 号を数える若葉台連合自治会の機関誌であるコミュニティ新聞。毎月約 7,500 部を発行し、若葉台全世帯のみならず行政機関や関係各所にも配架。WEB におけるアーカイブ版や連合自治会ブログと合わせ、若葉台における重要な情報発信・広報ツールとして位置づけられている。

モビリティサポート

少子高齢化社会に向けて情報通信技術等を活用し、高齢者や障がい者をはじめ誰もが必要に応じて移動に関する情報を入手したり積極的に活動できる環境を構築すること。

〔や 行〕

横浜若葉台 100 年マンション・世代循環型団地プロジェクト（100 年マンションプロジェクト）

平成 19 年に制定した 100 年マンション憲章の具現化に向け、平成 25 年に設立したプロジェクトで、住民、外部専門家、まちづくりセンター、公社により構成。世代循環型団地を目指して 3 つのワーキンググループ（改修技術、昇降機、転出入）が設置され、ソフト・ハードを問わず多様な研究が行われた。

〔ら 行〕

リーシング

商業用不動産の賃貸を支援する業務をいう。賃貸借取引の仲介だけでなく、店舗・事務所の立地動向調査（マーケティング）、テナントの構成や賃貸条件の設計・調整など、賃貸収益性を確保するためのサービス業務を含む仕事である。

リノベーション

リフォームよりも大規模な改修工事のこと。既存の骨格（構造）だけを残し、用途や機能を変更して性能を向上させたり価値を高めたりする。

〔わ 行〕

若葉台住宅管理組合協議会

若葉台における 15 単位管理組合が加盟する協議会組織で、平成元年に設立。横断的な情報共有と課題認識に基づき、各種専門部会を組織するなど、住環境の維持向上に資する先進的な検討や取組みを実践している。

若葉台地域ケアプラザ

若葉台地区の福祉保健活動や交流の拠点として、通所介護（デイサービス）、居宅介護支援（ケアマネジャー）、各種地域活動・交流事業に加え、地域包括支援センター機能を担う。

若葉台地区社会福祉協議会

地区社協としての基礎的事業である高齢者等見守り事業、代表者会議および情報交換会の開催に加え、若葉台独自の取組みとして、多世代交流「みんなあつまれ」、孫子老の日（福祉体験）、チャリティバザー等を主催し、福祉活動の担い手として地域課題にあった幅広い活動を展開している。

若葉台未来づくり協議会

若葉台連合自治会、若葉台住宅管理組合協議会、地域NPO法人ほか主要団体とまちづくりセンター、公社が構成員となり平成 23 年に発足した会議。原則として隔月開催し、まちづくりや活性化に関する情報共有や方向性の検討等を行っている。

若葉台連合自治会

若葉台における 10 単位自治会の連合組織で、昭和 60 年に設立（設立当時は 7 単位自治会）。日々の自治会活動を通じた地域の横断的な連携、行政や外部団体・他地域との連携や調整、広報活動など、若葉台における多様な地域活動や高度な自治レベルの中核を担う地域内最大の住民組織。

横浜若葉台 みらいづくりプラン

平成 29 年 3 月発行

編集・発行 横浜若葉台マスタープラン策定委員会

お問合せ

神奈川県住宅供給公社

団地再生事業部 事業企画課

〒231-8510 横浜市中区 日本大通 33 番地

電話 045-651-1957

一般財団法人 若葉台まちづくりセンター

〒241-0801 横浜市旭区若葉台三丁目 5 番地 2 号

電話 045-921-3361 (代表)